

請願第 8 号



令和5年10月6日

盛岡市議会議長 萩

紹介議員

豊村 徹也

住所

岩手県盛岡市

氏名 政策立案有志市民会 安部茂樹



連絡先

新型コロナワクチンの乳幼児及び小児接種における慎重な対応を求める意見書提出の請願

請願 趣旨

新型コロナウイルス感染症はウイルス変異を繰り返し弱毒化の傾向も見られ、重症化するケースが減少していることから、令和5年5月8日に新型インフルエンザ等感染症（2類相当）から5類感染症に位置付けが変更となった。

一方、新型コロナウイルスワクチン接種による後遺症を訴える患者は日々増加しているが、その因果関係を不明と判断されるなど多くの国民が苦しんでいる現状がある。

このような状況の中、厚生労働省は新型コロナウイルスワクチンの乳幼児及び小児接種のうち基礎疾患を有する者に推奨し、対象年齢は生後6か月以上としたことに懸念が拭えない。

そもそも治験中で中長期的な副反応も確認されていない新型コロナウイルスワクチンを、感染しても極めてリスクの低い子どもに接種する理由はどこにあるのか疑問であり、保護者が適切に判断をすることができるように十分な情報提供を行うべきである。

よって、国においては、子どもの健康と生命を守るために、次の事項について、地方自治法第99条の規定による意見書を国に対し提出するよう請願する。

請願 事項

- 1 子どもへのワクチン接種は強制、義務ではないこと、また、本人及び保護者が正しい情報を取得した上で判断できるよう十分に周知すること。
- 2 厚生労働省のホームページで公表されている副反応疑いについて、保護者が十分に理解できるよう、広報などを使って情報提供を行うこと。
- 3 新型コロナウイルスワクチン接種前に問診票を用いて、上記の情報提供内容を理解しているか、保護者に対して確認すること。